

146 保栄茂タルチー（へ）

（山原船）

山原といったらずと北部のほうね。あつちから船に薪をうんと積んできて、いっぱい積んできて。喜屋武ちゅたらあの、向こうね、喜屋武の部落の船着けるところ、浜。この山原船が薪を積んできて浜に着けたつて。

山原船に乗ってきた人と争いになつてゐるわけさ。争いになつて、保栄茂タルチーらは、

「これは自分が全部浜に引き寄せる」いうけど、このまた、船持つてゐる人らは、

「できない」と言つて争いになつてゐるわけ。で、指切りして、そんでやつたから、指切りやつたから、今度あの、保栄茂タルチーが引き寄せて、浜のほうに。全部薪を貰つたつて、いう話。

保栄茂タルチーが勝つたから、今度は、この薪は全部この、保栄茂タルチーが貰う約束で指切りやつたらしいの。それで出来たから保栄茂タルチーが薪全部貰つ

たそうです。

類話

字東里

上良徳栄（上里区）

字東里

上良ヒデ（上里区）

